

有志舎の新刊です。2022年4月下旬刊行

「都市の農村化」と協同主義

—近代都市像の再構築—

齋藤義則 著

四六判・ハードカバー・330ページ 本体価格 3,600円

新しい都市社会は「農」と共生する地域からつくられる！

日本各地における様々な協業の実践から、都市と農村とが共生する緊密な関係を取り戻し、個人の自由を尊重しつつも、相互の協力と連帯に価値をおく協同主義に基づく社会を構想する。

【目次】

はじめに

- 一 戦後日本における社会基盤とまちづくりの目標・主体の変容
 - 二 近代都市像からの脱却
 - 三 「都市の農村化」による「新たな豊かさ」とライフスタイルの生成
 - 四 「都市の農村化」を推進する協同主義と地域再生
 - 五 市民協同による地域社会づくりの事例
 - 六 都市と農村が共生する「農住自給圏都市」構想
- 資料 市民活動報告の記録

〈著者紹介〉齋藤義則（さいとう よしのり）：1950年生まれ、茨城大学名誉教授。都市史・都市計画論・地域論専攻。

～版元から～ かつて、日本の都市は歴史的に緊密な農村との相互補完関係をもっており、都市の土地も緑地を多く含む「庭園都市」でした。しかし、近代化・現代化のなかで経済的な豊かさとその自由を追い求め続けるようになっていくなかで、それは失われてしまったといえます。しかし、21世紀の現在、人々の生活目標は経済的豊かさだけを追い求めるものから環境への配慮や個性と自立性の尊重、そしてその上での協業が求められる社会の実現へと変貌しつつあります。本書は、都市の歴史をふまえながら、地域社会における市民・団体・行政などによる様々な協業と協同主義の実践から、都市と農村との親密な関係を再生する道を構想し、「町おこし」の原点を考えていきます。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
		「都市の農村化」と協同主義 —近代都市像の再構築— 齋藤義則 著	日本史（近現代） 都市論・地域論
	冊	四六判・ハードカバー、330ページ 本体価格 3,600円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	ご担当	新刊 ISBN 978-4-908672-56-9 C1021	
	様		

ご注文は (株)JRC へ

FAX：03-3294-2177

電話：03-5283-2230

返品条件付注文です。